

加工用野菜の新しい品目、作型及び品種

農林センター

問い合わせ先:丹後農業研究所 0772-65-2401

主な成果

- 換金作物の少ない6月上旬に出荷できるハクサイの品種を選定しました
また、効果的なべたがけ被覆期間を明らかにしました
- 開発農地でのアブラナ科の連作を回避するため、ニンジン、レタスの新しい作型を開発しました

成果の内容

初夏どりハクサイの栽培技術の確立

春まき初夏どり作型(6月上旬収穫)

- 品 種 「ゆめぶき506」
- 定植期 3月下旬～4月上旬定植
- 保 温 3月下旬定植では、定植直後～4月下旬の間、べたがけ被覆により保温

表1 品種比較結果

品 種	評 価	
	2020年	2021年
ゆめぶき506	抽だい 中 芯腐れ 少	抽だい 少、芯腐れ 少 漬物加工適性 良
黄楽70	抽だい 少 芯腐れ 多	抽だい 無、芯腐れ 中 漬物加工適性 やや不良
春笑	抽だい 少 芯腐れ 多	抽だい 少、芯腐れ 中、病害 多 漬物加工適性 良
A	抽だい 多 芯腐れ 中	
B	抽だい 多 芯腐れ 多	
C	抽だい 中 芯腐れ 多	
D	抽だい 多 芯腐れ 中	
E	抽だい 中 芯腐れ 多	
F	抽だい 中 芯腐れ 多	

表2 ベたがけ被覆期間による球重、軟腐病被害、抽だいへの影響(2022年)
品種:ゆめぶき506

定植期	被覆期間	球重	軟腐病被害株率	抽だい率
		g	%	%
3月下旬	被覆なし	2482	3.3	16.7
	定植～4月中旬	2876	3.3	3.3
	定植～4月下旬	2952	0	0
4月上旬	定植～5月上旬	3360	10.0	0
	被覆なし	2828	16.7	0
	定植～4月中旬	2897	21.7	0
	定植～4月下旬	2882	26.7	0
	定植～5月上旬	2883	35.0	0

連作障害回避作目の選定

① ニンジン

春まき初夏どり作型 (7月上旬収穫)

- 品 種 「翔彩」
- は種期 3月下旬～4月上旬

9月まき1月どり作型 (1月上旬収穫)

- 品 種 「愛紅」
- は種期 9月上旬播種

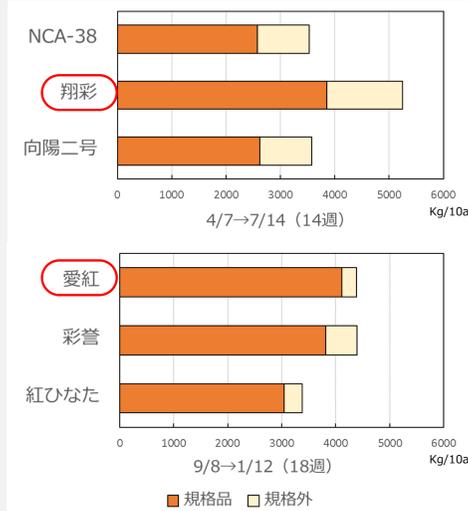


図1 作型ごとの収量の品種間差
上:春まき初夏どり 下:9月まき1月どり

② レタス

夏まき秋どり作型 (10月下旬～11月上旬収穫)

- 品 種 「ゴジラ」
- 定植期 9月上旬
- 施 肥 中肋骨突出の回避のため 12kgN/10a 程度



図2 加工用レタス栽培マニュアルを作成

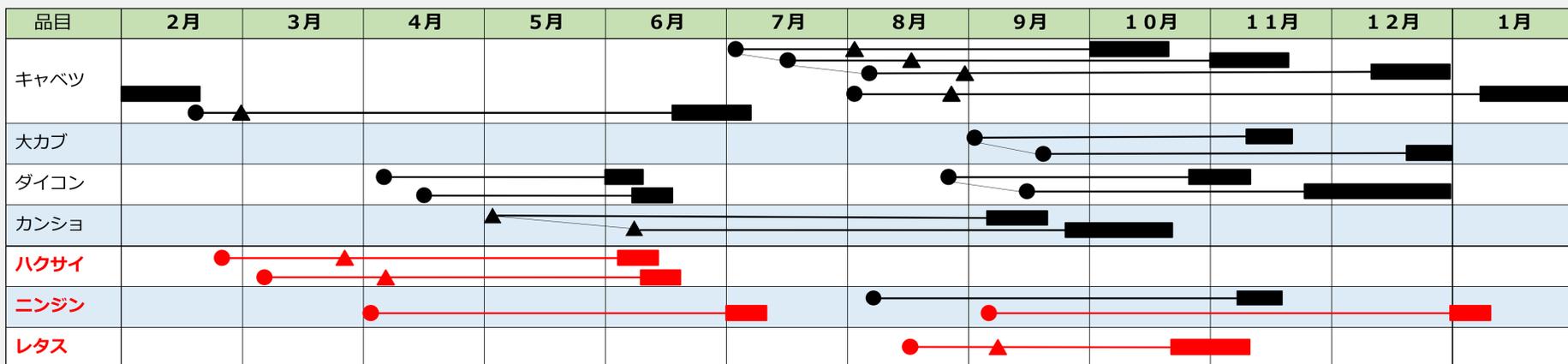


図3 開発農地における主な既存の加工用野菜と開発した品目、作型 ●: は種 ▲: 定植 ■: 収穫

期待される波及効果

- 連作障害のリスクを軽減し、産地の持続性を高める
- 担い手の年間収入を平準化し、経営、生活の安定に寄与